

マダラクワガタ

Aesalus asiaticus

兵庫県：C

環境省：—

種の概要

体長4～6mm。体の点刻は粗大で円形。毛は先太で鱗片状、または棍棒状、やや直立する。頭部は複眼の前方で角張り、頭楯は台形。大あごは短く、細毛があり、みには上方へ向く大きく湾曲した突起がある。山地の広葉樹の朽ち木中に生息し、1世代約2年を要する。秋頃に羽化し、そのまま越冬、翌春より初夏にかけて出現する。



写真提供：森正人

国内分布

北海道、本州、四国、九州、伊豆諸島、対馬、屋久島

県内分布記録

宍粟市、千種町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		

特記事項

その後の調査では新たな記録や情報が少ない。特に県中南部の分布状況が良くわかっていない。

保護上の留意点

樹林の保全